

第49期

株主通信

2016年4月1日～2017年3月31日

証券コード：7775

Open the Medical Frontier

 **COOPDECH**

11期連続 増収増益

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のことと心よりお慶び申し上げます。

平素は、格別なるご高配を賜り、心より厚く御礼申し上げます。
ここに、2017年3月期決算と事業の状況をご報告申し上げます。

代表取締役社長 **山田 満**



当事業年度におけるわが国経済は、政府による積極的な金融・経済政策等を背景に、企業収益の改善、雇用・所得環境に持ち直しの兆しが見られ、緩やかな回復基調で推移しました。一方、世界経済に目を向けますと、英国のEU離脱問題や米国の経済政策転換等による国際的な金融市場の混乱の影響に加え、最近では地政学的リスクの高まりにより、経済不安等は解消されず、依然として先行き不透明な状況が続いております。

また、当社を取り巻く事業環境は、高齢化の進展による手術数の増加、院内感染や医療事故防止対策の推進により、国内外において医療用消耗品のニーズの拡大が続いております。

さらに、医療機器産業はわが国の経済成長の一端を担うことを期待されており、日本医療研究開発機構の設立、革新的

な医療機器開発支援及び医工連携をはじめとした医療機器開発支援ネットワークの構築など、近年、官民を挙げて業界発展のためのサポート体制が整備・強化されてきております。

しかしながら、規制緩和による国内外の新規、既存メーカーとの競争激化や製品の品質、有効性及び安全性の確保等に要するコストも増加しており、依然業界を取り巻く事業環境は厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社は、高品質製品の常時安定供給を優先事項と掲げ、ユーザーと密着した営業活動の推進、品質を確保しながらもコスト競争力をもった生産体制の構築並びに独創的な製品の研究開発活動の強化に取り組んでまいりました。

2017年3月期の決算は、主力の吸引器関連において病棟用の吸引器であるキューインポットが好調に推移したこ

と等により、売上高は83億99百万円(前期比1.7%増)、経常利益は17億14百万円(前期比0.6%増)、当期純利益は12億46百万円(前期比8.0%増)となりました。

今後の当社を取り巻く環境は、医療費抑制策の基調が継続し、病院間の競争の激化や国内外のメーカーとの価格競争などにより、引き続き厳しい状況で推移するものと思われま。このような状況のもと、当社の営業・技術・製造が一体となって市場競争力を高めるとともに、さらなる業績の向上、企業価値の増大に向けて邁進すると同時に、顧客にとって不可欠なパートナーであり続けることを目指して取り組んでおります。また当社が対処すべき課題として以下のことに取り組んでまいります。

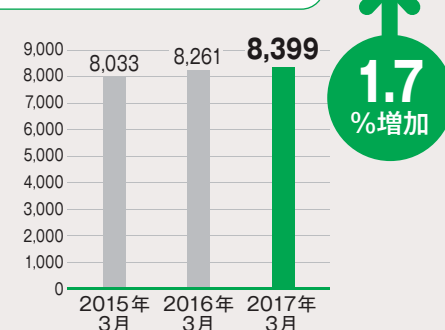
- ① 既存製品の拡充・新製品の開発
- ② 海外販売の拡充
- ③ 優秀な人材の確保、教育の強化
- ④ 品質保証体制の充実
- ⑤ 強固な企業体質の確立

こうした状況を踏まえ、2018年3月の見通しといたしましては、主力商品の堅調な売上げを見込み売上高は86億円(前期比1.7%増)、中長期的な事業拡大を目的に先行取得した新工場の稼働等により固定費が増えることから経常利益15億50百万円(前期比9.6%減)を計画しております。

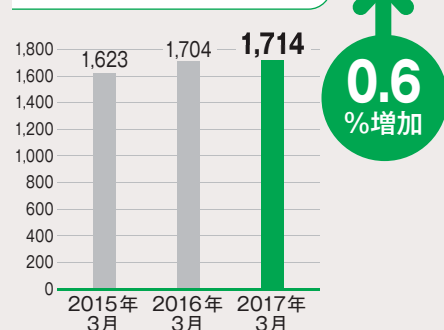
また当社は、株主への配当政策を重要経営課題の一つとして認識し、経営成績に裏づけされた成果の配分を中間及び期末配当の年2回行うことを基本方針としております。

現状では、内部留保は一定程度確保できているものと考え、当期末(2017年3月31日を基準日とする配当)から、配当性向を60%以上として、株主の皆さまへの配当強化を一層重視し、積極的な利益還元を実施することといたしました。この方針に基づき、2017年3月期の1株当たり配当額は年間25円(中間配当金7円、期末配当金18円)とさせていただきます。

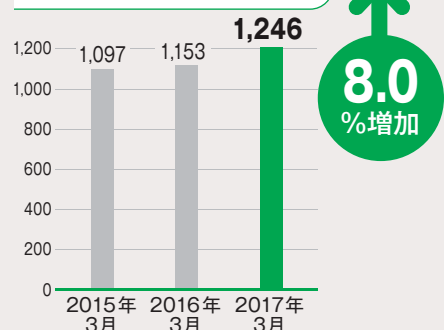
売上高(単位:百万円)

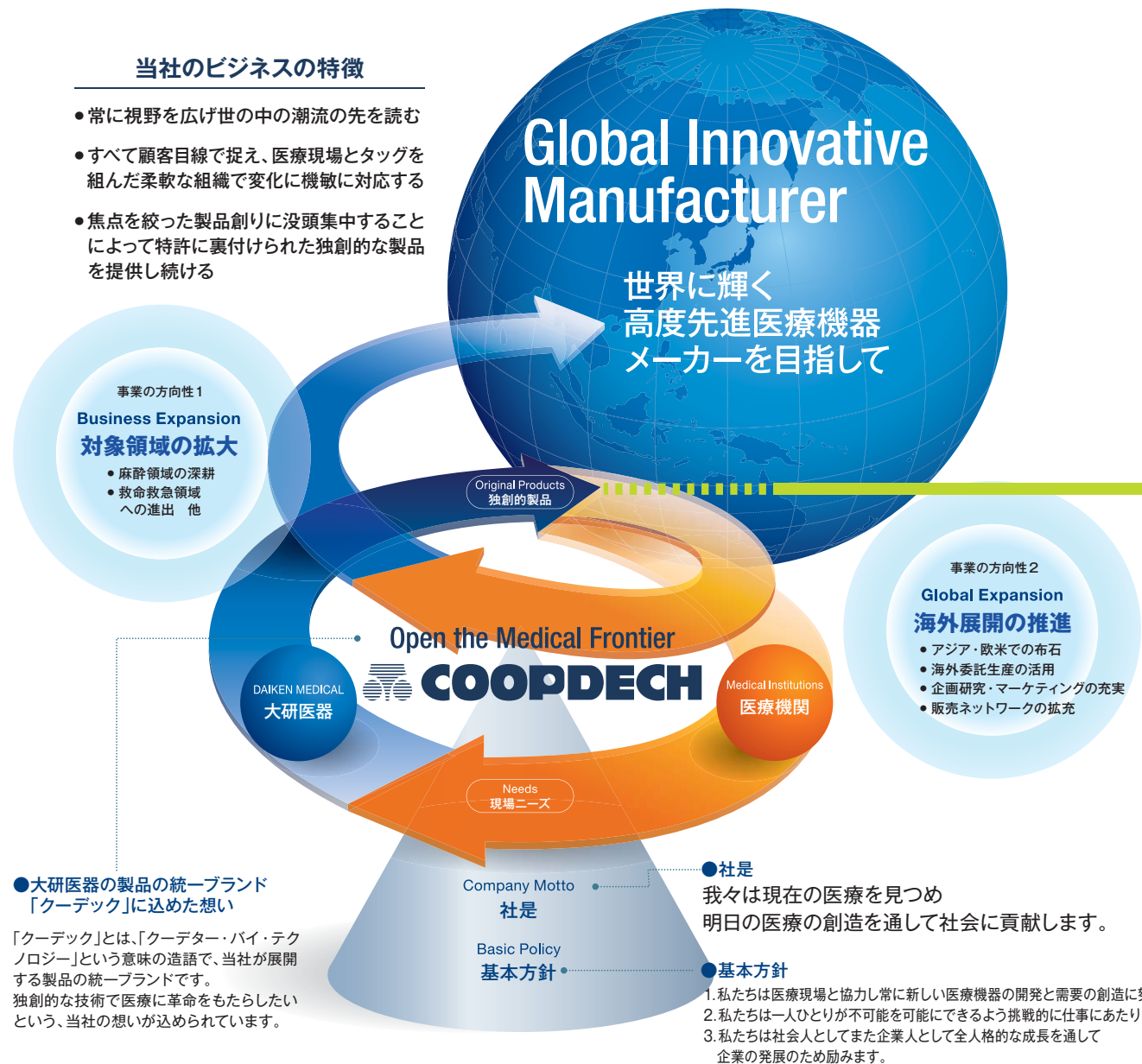


経常利益(単位:百万円)



当期純利益(単位:百万円)





当社のビジネスの特徴

- 常に視野を広げ世の中の潮流の先を読む
- すべて顧客目線で捉え、医療現場とタッグを組んだ柔軟な組織で変化に機敏に対応する
- 焦点を絞った製品創りに没頭集中することによって特許に裏付けられた独創的な製品を提供し続ける

最先端医療を支える独創的な製品を次々と開発

Suction

手術中の血液や体液等の廃液を吸収し、ワンタッチで凝固させることができます。凝固剤一体型で完全密閉のため、安心して移動・焼却処分が可能で、ウイルス等の院内感染予防に貢献します。

フィットフィックス



手術中に排出された血液や体液を吸収し、貯溜するディスポーザブル吸引器。

クーデック キューインポット



軽量かつコンパクトな使い捨て吸引器。病棟で簡単かつ清潔に使用可能。

Pump

手術後の痛みやがんの痛みを軽減するため、麻酔等の薬液を常に一定の流量で注入します。大気圧やメカトロニクス技術を利用することで、理想的な流量精度を実現しました。またPCAを利用することにより、現場のニーズにあわせて鎮痛剤の追加投与が可能となりました。

クーデック シリンジェクター PCAセット



大気圧式のディスポーザブル注入器。薬液投与量の記録管理等が可能。

クーデック シリンジポンプ



注射筒に入った輸液を注入する電動ポンプ。高い精度で多様な流量調整が可能。

Others

救急医療や手術室等で使用する様々な製品を作り出しています。今後は、低侵襲治療に係る最先端技術の開発や在宅医療等の新領域にも挑戦し、患者様のクオリティ・オブ・ライフの向上に繋がる製品を送り出していきます。

クーデック ダブルルーメン気管支チューブ



分離肺換気が必要な措置を行う際に使用される医療機器。

クーデック ステリキープIIザウバーゾーン



衛生的な手洗いに使用する、殺菌水製造装置。

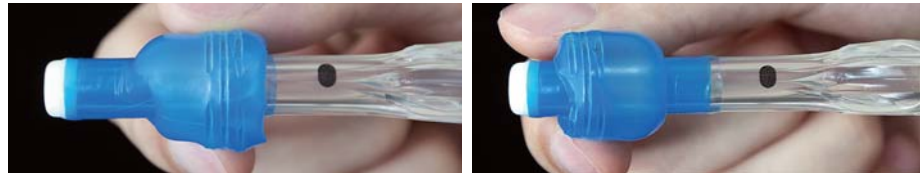


外れにくく容易に管理でき、患者にやさしい設計に クーデック®ダブルルーメン気管支チューブ

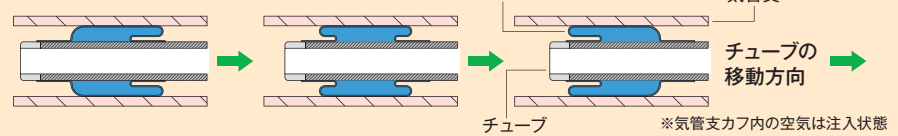
2016年6月16日、当社は肺切除術、胸部食道癌、胸部下行大動脈瘤の手術など分離肺換気が必要な措置を行う際に使用される医療機器「クーデックダブルルーメン気管支チューブ」を開発し、国内での販売を開始しました。

外れにくい形状の「気管支カフ」

- 気管支カフはスライドするように遊びを設けています。
- 使用中に多少のチューブずれが生じた場合でも、気管支カフは転がるようにスライドし、外れを軽減します。

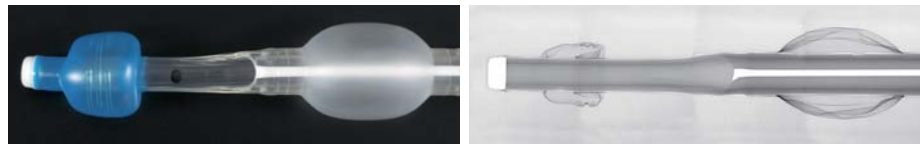


気管支カフのスライド模式図



挿入位置が容易に確認できる「X線不透過ライン」

- 先端のソフトチップとチューブ側面のX線不透過ラインで、チューブの挿入位置が確認できます。

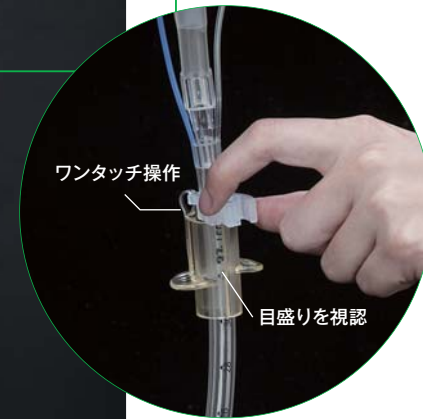
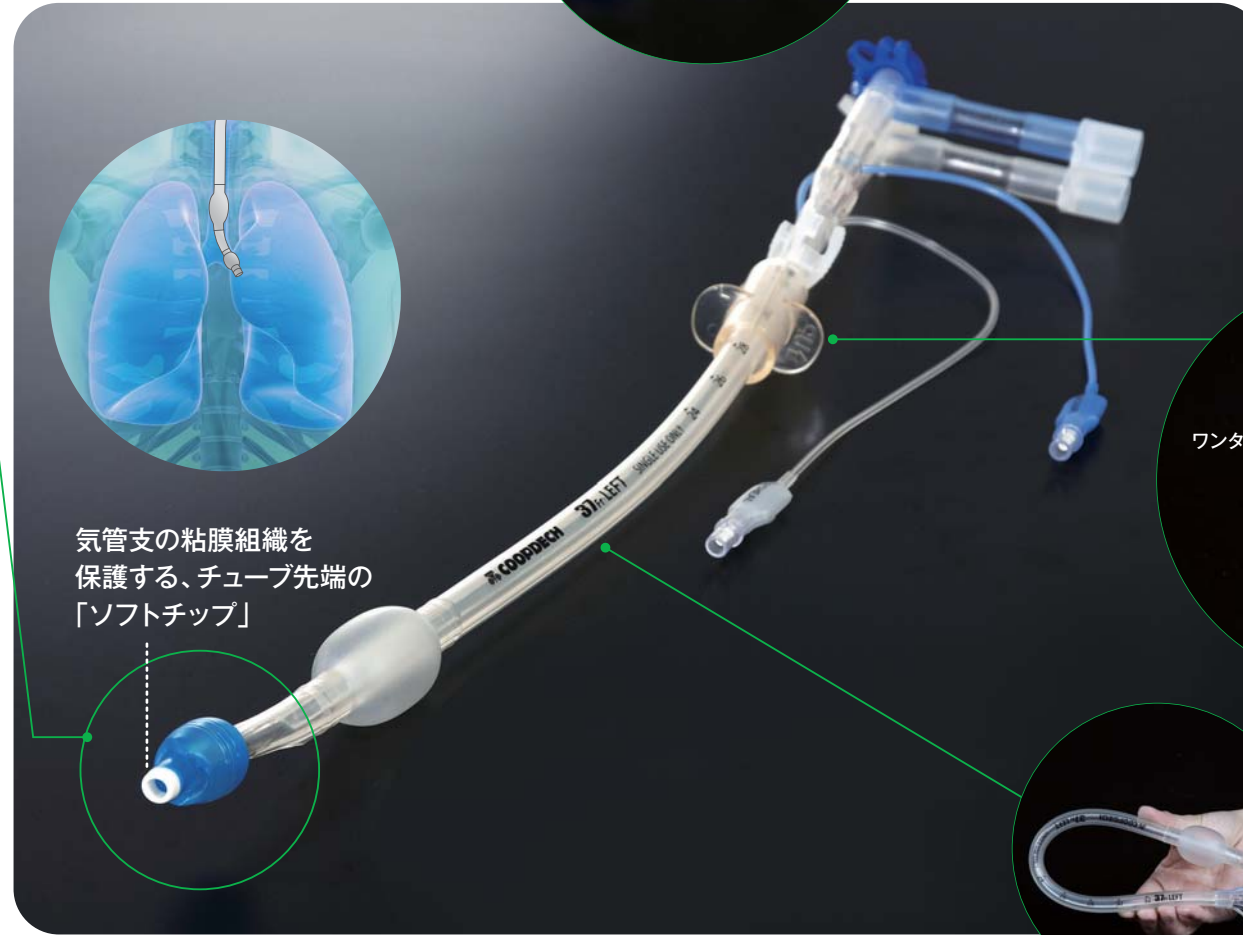


準備の手間を軽減する組み立て済みの「本体」

- 本体の部品は組み立て済みです。
- 滅菌包装開封後、手間なく使用できます。

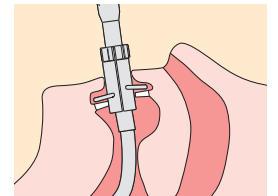
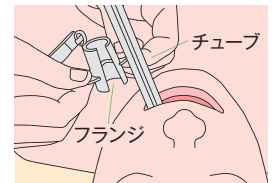
チューブの深さ調節を簡単にする チューブホルダー「フランジ」

- フランジに固定したチューブは、ワンタッチ操作で簡単に解除、再固定ができます。
- フランジは透明なPVCですので、チューブの目盛りが視認でき、挿管深度の確認が容易です。



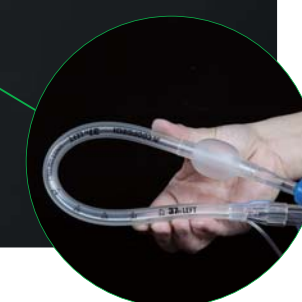
ワンタッチ操作

目盛りを視認



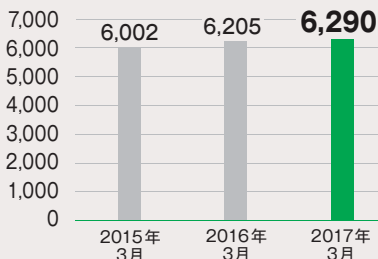
柔軟でキンクしにくい「チューブ」

- 無理な力が加わった場合でも、キンクしにくいチューブです。



流動資産 **62億90百万円**

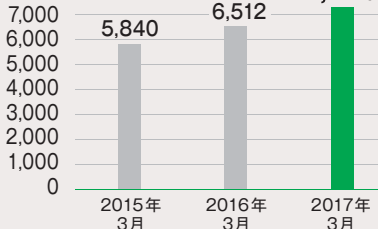
(単位:百万円)



流動資産は、前事業年度末に比べて84百万円増加し、62億90百万円となりました。これは主として、売掛金が78百万円減少したものの、製品が121百万円、前払費用が22百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

純資産 **72億79百万円**

(単位:百万円)



純資産は、前事業年度末に比べて7億66百万円増加し、72億79百万円となりました。これは主として、繰越利益剰余金が剰余金の配当により4億79百万円減少したものの、当期純利益を12億46百万円計上したこと等によるものです。

貸借対照表(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2016年3月末)	当事業年度 (2017年3月末)
○資産の部		
流動資産	6,205	6,290
固定資産	3,931	4,717
有形固定資産	3,696	4,505
無形固定資産	68	61
投資その他の資産	166	149
資産合計	10,136	11,007
○負債の部		
流動負債	2,662	3,202
固定負債	961	525
負債合計	3,624	3,728
○純資産の部		
株主資本	6,506	7,272
資本金	495	495
資本剰余金	505	505
利益剰余金	6,015	6,781
自己株式	△510	△510
評価・換算差額等	△0.1	1
その他有価証券評価差額金	△0.1	1
新株予約権	6	5
純資産合計	6,512	7,279
負債純資産合計	10,136	11,007

損益計算書(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2016年4月1日から 2016年3月31日まで)	当事業年度 (2017年4月1日から 2017年3月31日まで)
売上高	8,261	8,399
売上原価	3,944	3,991
売上総利益	4,316	4,408
販売費及び一般管理費*	2,620	2,696
営業利益	1,695	1,711
営業外収益	15	7
営業外費用	7	3
経常利益	1,704	1,714
特別利益	—	2
特別損失	0.9	19
税引前当期純利益	1,703	1,697
法人税、住民税及び事業税	519	431
法人税等調整額	30	20
当期純利益	1,153	1,246

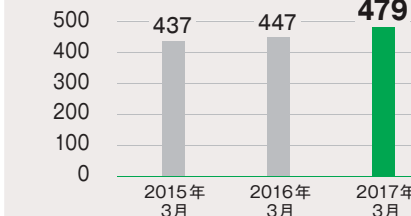
キャッシュ・フロー計算書(単位:百万円)

科目	前事業年度 (2016年4月1日から 2016年3月31日まで)	当事業年度 (2017年4月1日から 2017年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,294	1,350
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,316	△603
財務活動によるキャッシュ・フロー	192	△729
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	171	17
現金及び現金同等物の期首残高	2,131	2,302
現金及び現金同等物の期末残高	2,302	2,319

研究開発費 **4億79百万円**

(※販売費及び一般管理費)

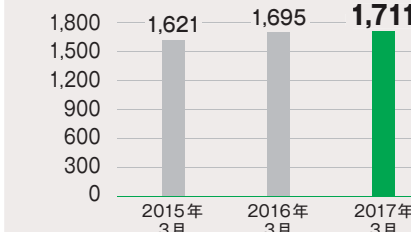
(単位:百万円)



研究開発費は、4億79百万円(前期比7.2%増)となりました。産学連携による先端医療機器の開発等、高度先進医療分野への研究開発活動の強化に取り組んだことによるものです。

営業利益 **17億11百万円**

(単位:百万円)



営業利益は、17億11百万円(前期比0.9%増)となりました。これは主として、人件費及び研究開発費の増加により販売費及び一般管理費が増加したものの、売上の拡大により売上総利益が増加したこと等によるものです。



2017年4月1日

帝国ホテル大阪にて 創業50周年記念祝賀会を開催

当社は平成29年4月1日、帝国ホテル大阪にて創業50周年記念祝賀会を開催しました。当日は社員とその家族を中心に、約400名が出席する盛大な式典となりました。当社の歴史をつづるオープニング映像に続き、創業者である代表取締役社長山田満による乾杯の後、関西フィルハーモニーの演奏をバックに、日本を代表するソプラノ歌手森麻季氏によるコンサート等が行われました。また山田圭一取締役と山田雅之取締役からそれぞれ次世代への決意表明および花束贈呈と、当社の次の50年を予感させる式典となりました。



会社データ

会社概要 (2017年3月31日現在)

社名	大研医器株式会社
設立	1968(昭和43)年11月5日
代表取締役社長	山田 満
売上高	83億9,960万円
従業員数	196名
本社	〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号
業種	医療用機械器具製造販売、 医療用機械器具輸出入

役員一覧 (2017年6月27日現在)

代表取締役社長	山田 満
取締役	山田 圭一
取締役	山田 雅之
取締役	柳堀 真司
社外取締役	古賀 義久
社外取締役	大工舎 宏
常勤監査役	上原 康司
社外監査役	岩城 本臣
社外監査役	北山 涼一

株式情報 (2017年3月31日現在)

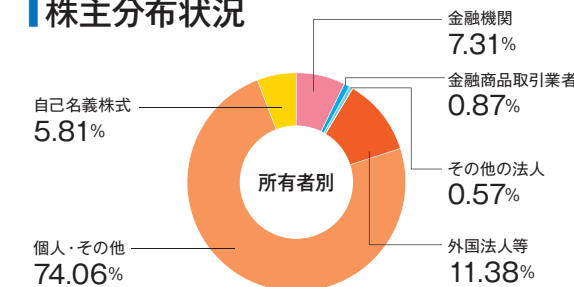
株式の状況

発行可能株式総数 …… 103,360,000株
 発行済株式の総数 …… 31,840,000株
 株主数 …… 11,942名

大株主	持株数(株)	持株比率(%)
山田 圭一	5,877,760	19.60
山田 満	5,433,880	18.12
山田 雅之	2,595,360	8.65
BBH FOR MATTHEWS JAPAN FUND	1,679,800	5.60
山田 米子	1,068,720	3.56
BBH FOR MATTHEWS ASIA GROWTH FUND	911,500	3.04
第一生命保険株式会社	490,000	1.63
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	337,900	1.13
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	327,900	1.09
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	312,700	1.04

※当社は、自己名義株式を1,849,257株保有しておりますが、上記大株主から除いております。また、持株比率は自己名義株式を控除して計算しております。

株主分布状況



所有者別分布状況	株主数(名)	株式数(株)	百分率(%)
金融機関	23	2,325,600	7.31
金融商品取引業者	34	277,973	0.87
その他の法人	56	182,900	0.57
外国法人等	63	3,623,437	11.38
個人・その他	11,765	23,580,833	74.06
自己名義株式	1	1,849,257	5.81
合計	11,942	31,840,000	100.00

株主メモ Stockholder Memo

事業年度 4月1日～翌年3月31日

期末配当金受領株主
確定日 3月31日

中間配当金受領株主
確定日 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.daiken-iki.co.jp/>
(ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。
口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。
なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



医療社会を未来する——

大研医器株式会社

〒541-0045 大阪市中央区道修町3丁目6番1号 京阪神御堂筋ビル14F

TEL:06-6231-9901(代表)

<http://www.daiken-iki.co.jp/>